現行の蛍光灯器具判断基準

（蛍光灯器具判断基準小委員会最終取りまとめ（平成10年12月17日）抜粋）

1. 対象となる範囲

蛍光灯ランプを主光源とする照明器具。ただし、防爆型のもの、耐熱型のもの、防じん構造のもの、耐食型のもの、車両用その他輸送機関用に設計されたもの、40形未満の蛍光灯ランプを使用する蛍光灯器具（JISC8115「家庭用蛍光灯器具」及びJISC8112「蛍光灯卓上スタンド（勉強、読書用）」に規定する蛍光灯器具を除く。）を除く。

2. 製造事業者等の判断の基準となるべき事項等

（1）目標年度

2005年度

（2）目標基準値

各製造事業者等が目標年度に国内向けに出荷する蛍光灯器具について、（3）により測定したエネルギー消費効率を、下の表の区分毎に出荷台数で加重平均した値が、目標基準値を下回らないようにすること。

区 分			目標基準値 lm/W	
直管形	110形ラピッドスタート形蛍光灯ランプを用いるもの		79.0	
	40形	高周波点灯専用直管形蛍光灯ランプを用いるもの	86.5	
		ラピッドスタート形蛍光灯ランプを用いるもの	71.0	
		スタータ形蛍光灯ランプを用いるもの	60.5	
	20形	スタータ形蛍光灯ランプを用いるもの	電子安定器式のもの	77.0
			磁気安定器式のもの	49.0
環形	ランプの大きさの区分の総和が72を超えるもの		81.0	
	ランプの大きさの区分の総和が62を超え72以下のもの		82.0	
	ランプの大きさの区分の総和が62以下のもの	電子安定器式のもの	75.5	
		磁気安定器式のもの	59.0	
卓上スタンド	コンパクト形蛍光灯ランプを用いるもの		62.5	
	直管形蛍光灯ランプを用いるもの		61.5	

（注）「ランプの大きさの区分」とは、JISC7601の付表1に規定する大きさの区分をいう。なお、単位はない。

(参考) lm(ルーメン) : 国際単位系による光束の単位。全ての方向に等しく 1 cd(カンデラ) の光度をもつ点光源から、立体角 1 sr(ステラジアン) の錐体中に放出される光束の大きさを表す。

(3) 測定方法

エネルギー消費効率は「lm/W」(「ルーメンパーワット」と読む) で表す。

エネルギー消費効率の算出方法は、蛍光灯器具に装着する蛍光ランプの全光束(lm) を蛍光灯器具の消費電力(W) で除して得られる数値とする。

$$\text{エネルギー消費効率(lm/W)} = \frac{\text{蛍光灯器具に装着する蛍光ランプの全光束(lm)}}{\text{蛍光灯器具の消費電力(W)}}$$

(4) 表示事項

表示事項は次の事項とする。

- ・ 蛍光灯器具の品名又は形名
- ・ 蛍光ランプの形式
- ・ 全光束
- ・ 消費電力
- ・ エネルギー消費効率
- ・ 製造事業者等の氏名又は名称

エネルギー消費効率の表示単位は、lm/Wとし、その数値は小数点第1位までを表示する。

表示事項の表示はカタログに記載して行う。ただし、卓上スタンドについては、家庭用品質表示法に基づき表示する。